

令和7年度 昭島市立光華小学校			学校経営重点計画(教育推進計画)年度末評価【総括表】	
学校教育目標	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	
			成果指標	
			評価	評価
確かな学力	主体的な学びの推進 を通して、児童・教師 が「光華遊学」の成果 を実感する	①対話を取り入れた授業 づくり ②対話に必要な児童のスキ ル向上 ③新しい学びの推進 ④フリアリテージンションを意 識した授業づくり ⑤教師自身のスキル向 上 ⑥児童の情報活用能 力向上 ⑦多岐にわたる機会を充 実 ⑧意見や考えを出せる 能力の醸成 ⑨感性や体験活動を 重視した教育の充実 ⑩読書活動の充実	4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4 3 2 1
			4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4 3 2 1
			4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4 3 2 1
豊かな心	多様な見方・考え方を 受け入れたり、自ら発 見し(ワクワケ・ドキドキ) を見い出す心のクセを 身に付ける	①特別支援教育の充 実(スキル活用、連携 含む) ②児童への理解啓発 ③体育の授業改善 ④元氣アップタイムの 充実 ⑤食育の推進 ⑥CM60の推進 ⑦食育の推進 ⑧いじめ防止の推進 ⑨命を大切にする教育 (包括的性教育)の推進 ⑩まず、やってみる！の 形成 ⑪周囲に役立つ喜び の重視 ⑫外部人材の活用 ⑬目的を明確にした各行 事の充実 ⑭「心をとめる」指導の 充実 ⑮学習の自己評価活 動	4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4 3 2 1
			4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4 3 2 1
			4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4 3 2 1
健やかな体	自らの健康を保持・増 進する生活習慣の定 着	①いじめ防止の推進 ②命を大切にする教育 (包括的性教育)の推進 ③まず、やってみる！の 形成 ④周囲に役立つ喜び の重視 ⑤外部人材の活用 ⑥目的を明確にした各行 事の充実 ⑦「心をとめる」指導の 充実 ⑧学習の自己評価活 動	4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4 3 2 1
			4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4 3 2 1
			4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4 3 2 1
輝く未来	自らの健康を保持・増 進する生活習慣の定 着	①いじめ防止の推進 ②命を大切にする教育 (包括的性教育)の推進 ③まず、やってみる！の 形成 ④周囲に役立つ喜び の重視 ⑤外部人材の活用 ⑥目的を明確にした各行 事の充実 ⑦「心をとめる」指導の 充実 ⑧学習の自己評価活 動	4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4 3 2 1
			4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4 3 2 1
			4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4 3 2 1

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	主体的な学びの推進 を通して、児童・教師 が「光華遊学」の成果 を実感する	対話力の向上	①対話を取り入れた授業 づくり ②対話に必要な児童のスキ ル向上 ③新しい学びの推進 ④フリアリテージンションを意 識した授業づくり ⑤教師自身のスキル向 上 ⑥児童の情報活用能 力向上 ⑦多岐にわたる機会を充 実 ⑧意見や考えを出せる 能力の醸成 ⑨感性や体験活動を 重視した教育の充実 ⑩読書活動の充実	4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	3	4 3 2 1	4 3 2 1	児童肯定群91%。対話 的な学びの重視がこの 結果につながっている。	対話力の向上は人間関係 にも影響大きい。路上 で大きな挨拶してくれる児 童あり。今後も推進を期待 する。	A	引き続きホワイトボードや 思考ツールの活用を含 め、対話力を学力的土 台として重点化する。
				4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	3	4 3 2 1	4 3 2 1	児童肯定群92%。自由進 度型学習をはじめ、一方通行 でない学びの効果と考 えている。	教科通断的な学習、問題 解決型学習を通して、児童の 「何ぞや」や「やりたい」を 実現する学習活動が幅広され ている。	B	次年度は教科横断型、空 白度の3つの学びを軸 に、児童の主体性を引き 出す。
				4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	3	4 3 2 1	4 3 2 1	児童肯定群98%。教師目 的の研修 ICT担当者の精 力的な働きかけがタブレット 活用の日常化につなが っている。	指導者のスキル向上が 先決ではないか。外部 講師による教員研修が 効果的。	A	タブレットの積極的活用 とともに、ネットリテラシー にもさらに重点を置く。
豊かな心	多様な見方・考え方を 受け入れたり、自ら発 見し(ワクワケ・ドキドキ) を見い出す心のクセを 身に付ける	多様性を認め合う心の 醸成	①特別支援教育の充 実(スキル活用、連携 含む) ②児童への理解啓発 ③体育の授業改善 ④元氣アップタイムの 充実 ⑤食育の推進 ⑥CM60の推進 ⑦食育の推進 ⑧いじめ防止の推進 ⑨命を大切にする教育 (包括的性教育)の推進 ⑩まず、やってみる！の 形成 ⑪周囲に役立つ喜び の重視 ⑫外部人材の活用 ⑬目的を明確にした各行 事の充実 ⑭「心をとめる」指導の 充実 ⑮学習の自己評価活 動	4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4	4 3 2 1	4 3 2 1	児童肯定群99%。多様 な学びの過程で、必然 的に肯定的なかわわりと 安心感が生まれたもの と考えている。	近頃の中で子供たちの意 識が育つ、積極的な外部 連携が多様性の享受につ ながっているのではない か。	A	引き続き多様性の相互 承認を教育活動の土台 に置く。
				4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	3	4 3 2 1	4 3 2 1	児童肯定群99%。特に 理科の尽力で芸術的体 験の増加が成果につな がったと考える。	理屈ではない、感性の豊 かさが重要。図書ボラン ティアの活用も充実。音 楽会は見事だった。	A	引き続き児童の豊かな 感性を磨く活動を重視、 外部人材も積極的に活 用する。
				4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4	4 3 2 1	4 3 2 1	児童肯定群99%。拠点 校として特別支援教育の 理解啓発が進んだ成果 と考える。	日田(恵那)など個別取組 は学びが充実している。 今後も、児童の特性をく み取る指導の充実を期 待している。	A	今後も多様性の相互承 認を基盤に、インクルー シブ教育を推進する。
健やかな体	自らの健康を保持・増 進する生活習慣の定 着	体を動かす喜びの感 覚 感(「遊び」の重視)	①特別支援教育の充 実(スキル活用、連携 含む) ②児童への理解啓発 ③体育の授業改善 ④元氣アップタイムの 充実 ⑤食育の推進 ⑥CM60の推進 ⑦食育の推進 ⑧いじめ防止の推進 ⑨命を大切にする教育 (包括的性教育)の推進 ⑩まず、やってみる！の 形成 ⑪周囲に役立つ喜び の重視 ⑫外部人材の活用 ⑬目的を明確にした各行 事の充実 ⑭「心をとめる」指導の 充実 ⑮学習の自己評価活 動	4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	3	4 3 2 1	4 3 2 1	児童肯定群84%。体育 的行事は充実したが、体 育の授業改善が課題と して残る。	児童肯定群84%。体育 的行事は充実したが、体 育の授業改善が課題と して残る。	A	体育担当者の中でOJT 担当を決め、定期的な 体育授業研修をめざ す。
				4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	3	4 3 2 1	4 3 2 1	児童肯定群90%。担当 者の尽力で食育の全校 指導が定期的の実施さ れた。	GM60など日常生活を見 つめる指導を評価。 食育をテーマにした学習 の啓発を充実させる。	B	食育をテーマにした学習 の啓発を充実させる。
				4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	3	4 3 2 1	4 3 2 1	児童肯定群95%。SOS 教育の日常化が安心感 につながっていると考え る。	清泉中学区での共通し た取り組みを評価。児童 の9割が安心して通学し ていることも評価でき る。	A	いじめ防止の徹底と共 に、いじめに遭った時の 具体策も併せて重点化 する。
輝く未来	自らの健康を保持・増 進する生活習慣の定 着	「まず、やってみる！」 精神の浸透	①特別支援教育の充 実(スキル活用、連携 含む) ②児童への理解啓発 ③体育の授業改善 ④元氣アップタイムの 充実 ⑤食育の推進 ⑥CM60の推進 ⑦食育の推進 ⑧いじめ防止の推進 ⑨命を大切にする教育 (包括的性教育)の推進 ⑩まず、やってみる！の 形成 ⑪周囲に役立つ喜び の重視 ⑫外部人材の活用 ⑬目的を明確にした各行 事の充実 ⑭「心をとめる」指導の 充実 ⑮学習の自己評価活 動	4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	4	4 3 2 1	4 3 2 1	児童肯定群91%。まず 定着は自己肯定感にも つながると感じる。教師 自身がまずやってみる、 地域連携を大切にし ていくことを発信してい る。地区委員会と児童 の企画は大成であっ た。	まず、やってみる！の 定着は自己肯定感にも つながると感じる。教師 自身がまずやってみる、 地域連携を大切にし ていくことを発信してい る。地区委員会と児童 の企画は大成であっ た。	A	「まず、やってみよう！」 精神は今後も学校経営 の中心におく。
				4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	3	4 3 2 1	4 3 2 1	児童肯定群88%。多く の学年が積極的に外部 人材を活用した成果と考 える。	児童肯定群88%。多く の学年が積極的に外部 人材を活用した成果と考 える。	A	地域学校協働活動の推 進を念頭に、地域人材 の活用を積極的に進め ていく。
				4・2項目に取り組み成果を上げた 3・2項目に取り組むことができた 2・1項目は取り組むことができた 1・全く取り組みなかった	3	4 3 2 1	4 3 2 1	児童肯定群94%。心を とめる、は教員共通の キーワードとなっており、 児童の中にも浸透してい る。	教職員が「心をとめる」意 義を再確認し、学校全体 の共通理解を推進して ほしい。	B	「心をとめる」をキーワー ドに、他者の意見尊重す る中で自己を見つめる 機会を重視していく。